

石炭火力の強靱性

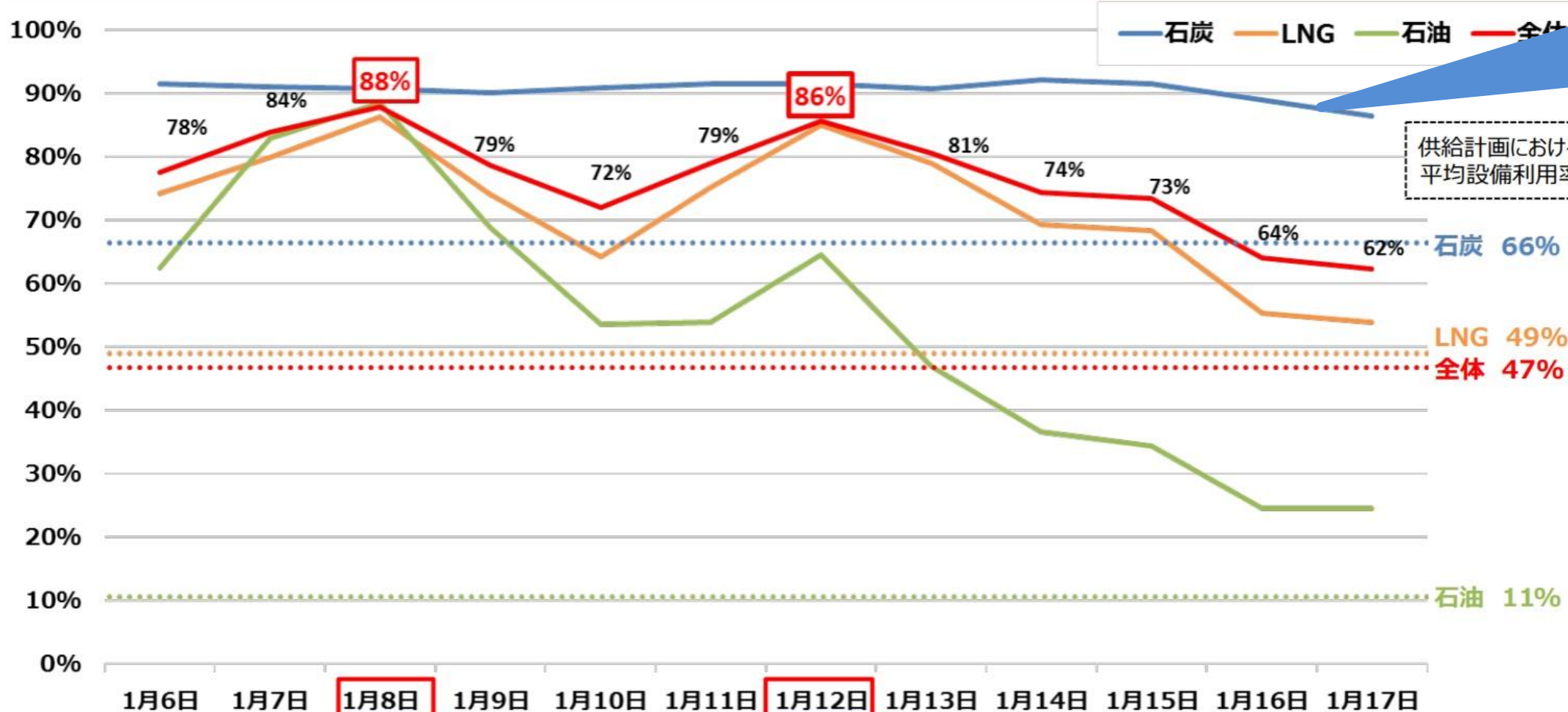
The Resilience of Coal Fired Power

電力供給における石炭火力の強靱性を示す(2021年1月)例

An example of showing the resilience of coal-fired power (January 2021)

火力発電設備利用率 日別比較

- 火力発電の設備利用率を見ると、**燃料種を問わず**、供給計画取りまとめにおける**2019年度の設備利用率（点線部）を常時上回る状態が継続**。
- 特に全国的に寒波が訪れた**1月8日、12日**においては、**火力全体の設備利用率が約90%**となった。



石炭火力が高い稼働率を維持して安定供給を支えた

Coal Fired Power maintained a high utilization factor and supported a stable supply

※旧一般電気事業者等（北海道電力、東北電力、JERA、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、電源開発、酒田共同火力発電、相馬共同火力、常磐共同火力）が所有する火力発電所（沖縄に立地する発電所を除く）を対象に各社ヒアリングにより集計。トラブル等による停止は含んでいるものの、長期休止電源は含んでいない。
※「設備利用率＝発電電力量（送電端、24時間値）/24/定格出力」として求めている。ただし一部、送電端で発電電力量が計測困難な発電所について、発電端の値を使用している。
※燃料が混焼の場合、最も割合が多い主燃料によって燃料種を区分している。
※グラフ中の点線は、2020年度供給計画取りまとめにおける2019年度の設備利用率を示している。それぞれの値は燃料別に、石炭66.4%、LNG48.9%、石油10.6%、火力全体46.8%である。

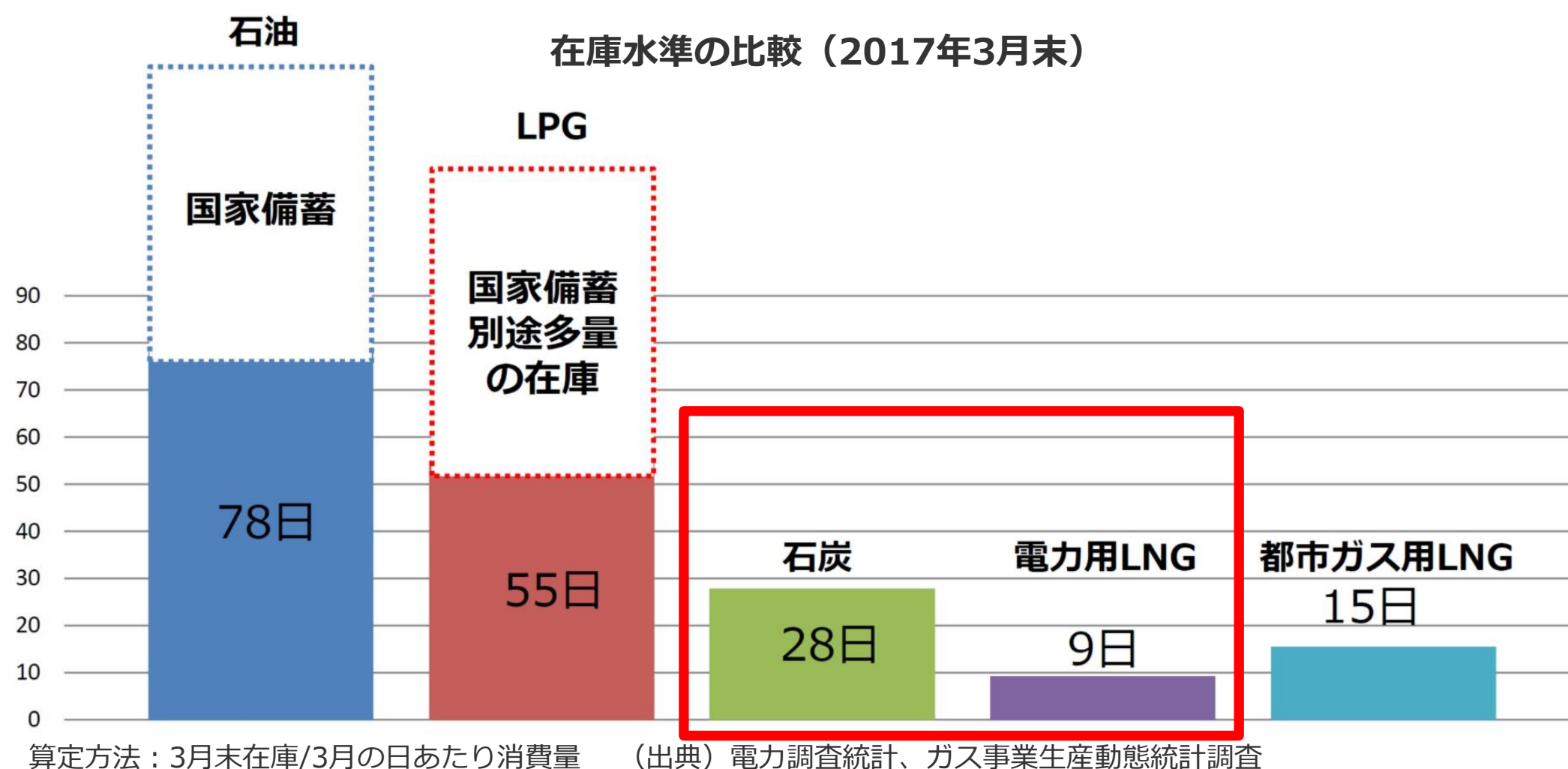
出典：経済産業省総合資源エネルギー調査会資料

発電燃料としての石炭の供給安定性

Stability of coal supply as fuel for power generation

◎他の化石燃料同様、石炭も海外からの輸入に頼っているが、LNGに比べて調達先の国情も安定しており、長期貯蔵が可能である。

Like other fossil fuels, coal relies on imports from overseas, but compared to LNG, the national situation of the suppliers is stable and long-term storage is possible.



算定方法：3月末在庫/3月の日あたり消費量（出典）電力調査統計、ガス事業生産動態統計調査

出典：経済産業省 資源エネルギー庁 スペシャルコンテンツ